



つのちょう

第60号

# 議会だより



天狗高原

## 12月定例会

令和2年2月1日発行

### 主な紙面

発行 高知県津野町議会  
☎(0889)55-2038  
編集 議会だより発行調査特別委員会  
発行責任者 議長 大崎公孝  
印刷 刷 (有)笹岡印刷所

令和元年度一般会計補正予算…………… 2P  
行政報告…………… 4P～5P  
町政を問う（6人が一般質問）…………… 6P～16P

# 一般会計補正予算

12月定例会

林道現年災害復旧費  
公債費繰上償還金等

# 9億9,600万円を増額

## 総額75億200万円

12月定例会は、6日から12日までの7日間開かれ、専決処分報告3件、令和元年度一般会計補正予算をはじめ議案12件を原案のとおり可決、人事案件1件を答申した。

一般質問には6人が立ち、観光資源の活用、精華小学校の在り方、天狗荘のリニューアル構想、介護予防への支援対策、青年団組織化への取り組み、骨髄ドナー助成制度等について執行部をただした。

### 元年度補正予算

#### 一般会計補正予算(第3号)

防災拠点施設整備事業5千万円を減額、林道馬場山線整備事業3千700万円、林道現年発生災害復旧費1億800万円、公債費元金の繰り上げ償還9億578万8千円を増額し、歳入歳出の総額を75億200万円とする。

可決(全員一致)

#### 国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

事業勘定46万4千円、直営診療施設勘定47万5千円を増額し、歳入歳出の総額を事業勘定7億5千724万7千円、直営診療施設勘定1億4千697万6千円とする。

可決(全員一致)

#### 介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

第1号被保険者保険料還付金40万円を増額し、歳入歳出の総額を8億354万2千円とする。

可決(全員一致)

### 条例の改正・制定

#### 津野町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

本年、人事院が行った国家公務員の給与に関する勧告に併せ、職員に対して支給する給与月額及び勤勉手当の改正をするため改正するもの。

可決(全員一致)

#### 津野町職員定数条例の一部を改正する条例

子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援拠点の設置に向けて、町長の事務部局と教育委員会の事務部局の定数の改正を行うもの。

可決(全員一致)

#### 津野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行により、令和2年4月1日から会計年度任用職員制度が導入されることに伴い、給与及び費用弁償に関し必要な事項を定めるため条例を制定するもの。

可決(全員一致)

#### 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行により、会計年度任用職員制度が導入されることに伴い、本町の関係する条例について整備を行うもの。

可決(全員一致)

#### 津野町印鑑条例の一部を改正する条例

住民基本台帳法施行令等の一部改正により、住民票等への旧氏の記載が可能となったこと、及び成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行により、成年被後見人からの印鑑登録が可能となることに伴い、改正するもの。

可決(全員一致)

▼津野町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

災害弔慰金の支給等に関する法律及び災害弔慰金の支給等に関する法律施行令の一部改正に伴い、改正するもの。可決（全員一致）

▼津野町奨学金貸与条例の一部を改正する条例

教育委員会の機構改革により役職の名称が変更になることに伴い、改正するもの。可決（全員一致）

## その他の議案

▼津野町公の施設の管理に係る指定管理者の指定

貝ノ川地区集落活動拠点施設の指定管理者として「津野町貝ノ川棚田保存会」を指定。可決（全員一致）

津野町農村女性グループ活動促進施設の指定管理者

として「はやまの茶屋」を指定。可決（全員一致）

## 専決処分報告

令和元年9月14日に発生した、林道東津野城川線舗装の陥没による車両右側タイヤを損傷した事故について、和解及び損害賠償額を決定したもの。

平成31年度防災拠点施設整備工事請負契約金額を167万2千円減額し、2億8千872万8千円とするもの。

令和元年度津野町簡易水道（中央）施設整備工事請負契約金額を498万3千円増額し、5千283万3千円とするもの。

## 委員の推薦

人権擁護委員

森山 進氏（再任）

津野町高野

昭和24年生

任期

令和2年4月1日

から令和5年3月

31日まで



12月定例会 本庁舎議場



議会を傍聴してみませんか。

定例会は年4回です。 3月・12月（本庁舎議場）  
6月・9月（西庁舎議場）

たくさんの方の傍聴をお待ちしています。

# 町長 行政報告



池田町長

的なプロモーションの実施など、観光振興計画をもとに食・宿・土産・体験等で外資を稼ぐ観光を重点的に推進する。

農業では、抱える課題に対応した新たな施策を事業化するとともに、道路や簡易水道などの整備やPFI方式による移住定住促進施設整備、多発する自然災害から町民を守るためのデジタル防災行政無線の整備に取り組む。

## 台風等の風水害

台風18号では、葉山観測所で最大時間雨量94ミリ、24時間雨量361ミリと非常に強い雨が降った。9月豪雨に併せて6件の補助災害と20件程度の小災害が発生し、補助災害の概算事業費は約9千400万円。災害査定を受け、早期復旧に努めている。台風19号では高知県が福島県の避難所等の支援を行っており、本町は職員1名を12日間派遣をした。

交流の施策に活用して欲しい」として町に全額を寄付し、使途については町が主導して地域の活性化に役立ててほしいとのこと受入手続きなどを再確認した。

## せいらんの里整備計画

令和3年度に新築オープンを目指し基本設計まで完了していたが、周辺が土砂災害特別警戒区域に指定されたことから大規模な工事が必要となり、建設を断念した。

から要望があり、希望に沿った開催をしていく。

## プレミアム付き商品券

非課税世帯は購入までの手間がかかることや、一定のお金が必要なことから全国的にも申請率が低い。本町でも10月末で24%であったため勸奨を行い、11月22日時点で32%となった。また、子育て世帯では42%となっており、引き続き広報等で周知を図っていく。

## 天忠組シンポジウム

9月26日、勤王の志士「吉村虎太郎」が総裁を務めた天忠組の顕彰活動に取り組んでいる奈良県の天忠組市町村連携協議会主催のシンポジウムが、東津野B&G海洋センターで開催された。東吉野村・五條市・安堵町・十津川村の各首長を含め370名が参加した。これまでも東京都や奈良県で開催しており、全国に広めながら県内ゆかりの市町と連携を図っていく。

今年度は、集落活動センター「ふなと」のオープンにはじまり、道路や簡易水道施設等のインフラ整備、防災拠点施設整備、天狗荘リニューアル計画、地域づくり・子育て支援の充実など、順調に推進できた。

第2期まちづくり計画による6本の施策を基に予算編成。津野町で育まれた資源や地域に根ざした経営資源を活かし、稼ぐ力や価値を高める仕組みづくりを推進していく。

観光では、多様化する観光客のニーズにあった効果

## 財政状況

平成30年度決算において、近年の起債発行額の増加で公債費が増えたことに加え、普通交付税の減額により経営収支比率が3.7ポイント増加し74.5%になっている。今後5年間でデジタル防災行政無線整備、天狗荘リニューアル事業、本庁舎改修などの大型事業が計画されており、多額の起債発行により公債費が増大することから計画的な繰上償還を行い、健全な財政運営を推進する。

## 土砂災害警戒区域等の指定

10月26・27日に本町で情報提供が行われた。対象世帯の24%、390世帯が参加。現在宅地の23%が区域内であり、安全な場所への避難や命を守る行動を周知するなど防災減災対策に取り組む。

## 下元氏からの高額寄付

これまでにも本町へ多額の御寄付をいただいている白河瀬出身の下元慶朗氏から、一億円の寄付の申し出を受け、12月4日に面談させていただいた。「多世代

## 地区座談会

2地域・1地区・2校で開催。10月には学校に向向き、葉山中学校3年生、東津野中学校2年生と活発な意見交換を行った。中学生からは「中学生に期待をしていることは何か」などの質問があり、まちづくりに参画する姿勢を頼もしく感じた。今後は1地区1団体

**保育料無償化**

この制度は10月1日から実施されている。津野町では、既に3歳から5歳までの利用料の無償とともに、0歳から2歳までの利用料についても国の基準の半額として子育て支援の充実を図ってきた。

今回の国の無償化により、交付額として新たな財源が見込まれることから、来年4月より0歳から2歳までの保育料及び3歳から5歳までの給食費とおやつ代について、低所得世帯は無償とするなど、新たな施策について協議を行っている。

**精華小学校のあり方**

一昨年から保護者アンケートと保護者との協議を行ってきた。アンケートの結果では「現行のまま」が約20%、「当面は現行のままが良いが、将来に向けて統合を検討」が約50%、「統合に前向き」が約30%となっている。

将来に向けて統合を検討が増加し、保護者の意識も変わってきたと分析。今後、

統合に向けて話し合いを進めることを決定し、子ども主体の教育環境を目指して保護者や地域との議論を重ねていく。

※PFI方式とは  
民間資金等の活用による公共施設等の整備



建築中の防災拠点施設

**議会のうごき**

**11月**

1 高知県戦没者追悼式 (高知市・議長)

6 津野町戦没者追悼式 (酒蔵・議員)

8 訓子府町との懇談会 (町内・正副議長)

9 土佐市制施行六十周年記念式典 (土佐市・議長)

10 第15回津野町産業祭・健康ふくし展 (B&G)

12 県選出国会議員との意見交換会 (東京都・議長)

13 全国町村議会議長会創立70周年記念式典 (東京都・議長)

13 第63回町村議会議長全国議長大会 (東京都・議長)

14 第13回高幡町村議会議長会県外研修 (埼玉県・議長)

18 請願についての協議 (本庁・議長)

20 総務常任委員会 (町内・委員)

21 全員協議会 (本庁・議員)

23 神楽発表会 (東津野中学校)

人権ふれあいDAY (船戸)

津野消防団年末幹部会 (町内・議長)

29 議会広報研修 (高知市・委員)

2 議会運営委員会 (本庁・委員)

3 令和元年第2回津野山養護老人ホーム組合議会 (須崎市・議長)

高陵特別養護老人ホーム組合議会 (須崎市・議長)

第14回高幡消防組合定例議会 (須崎市・議長)

4 下元慶朗氏との懇談 (大阪府・議長)

6 第8回津野町議会議定例会開会 (本庁・議員)

産業建設常任委員会 (本庁・委員)

7 休会 (10日)

11 一般質問 (本庁・議員)

12 議案審議・閉会 (本庁・議員)

13 地区長会 (西庁・議長)

2 成人式 (本庁・議員)

4 津野消防出初式 (かわうそ公園・議員)

7 新年挨拶回り (県庁他・正副議長)

9 議会だより発行調査特別委員会 (本庁・委員)

16 議会だより発行調査特別委員会 (本庁・委員)

高知県議会津野町視察同行 (本庁・委員)

17 地区長会 (町内・議長)

20 全員協議会 (本庁・議長)

28 国道439号新矢筈トンネル早期実現期成同盟会要望活動 (須崎市他・議長)

**問** 中学校の部活見直しを

**答** 学校運営協議会で協議



石川 寿朗

一般  
質問

津野町少年柔道葉山大会（10月）



石川

町内の小学生の各種スポーツ団体には、選手としてレベルの高い児童もいるが、中学校のクラブには無い。身につけた能力を文化部も含め中学校でも伸ばしていくため、外部指導者に協力を求めるとともに、保護者と見直し協議をしては。

久寿教育長

以前からの課題であるが現在のクラブ活動との関わりもある。生徒がやりたいクラブを一つでも多く設けられるように、また既存のクラブをさらに向上できるように子ども達と話し合い、学校運営協議会で今後のクラブ活動の在り方について協議したい。

石川

町内には、普通救命講習を受講された方が大勢いるが、AEDの設置場所が少ないうえ、国道沿いや公共施設に集中しており、緊急時に間に合わないケースが想定される。谷あいの集会所にも設置し「安心安全の町づくり」に寄与してほしい。

池田町長

AEDは、町内に51カ所設置しているが、耐用年数が約7年で、維持管理も含めて備える必要がある。現在、自主防災組織の器具整備についての補助事業があり、その対象になるか問い合わせ中である。集落活動等と連携及び議論し、必要であれば設置の方向で考えている。



A E D（自動体外式除細動器）

※ 心肺停止など心臓が血液を流す機能を失った場合、胸部に電気ショックを与え正常に戻す医療機器

**答**

設置の方向で考える

**問**

A E Dを地区集会所に

**問** イベントの相乗効果を  
**答** 慎重に議論



ハナカタ マサキ バンド (ツノチャ・マルシェ会場・10月)

石川

かわうそ公園で開催された「ツノチャ・マルシェ」は、年々盛況で町外からの来場者も増え、活気あるイベントになっている。

今年も総合センター体育館での「津野町少年柔道葉山大会」と同日に開催され、来場者が多く相乗効果がみられた。今後も、各種スポーツ団体と同日開催に向け

て協議をしては。

また、かわうそ学習館の常設展をプロの写真や画家の個展、町の偉人や歴史、町観光地のPR等の企画展に変更し同時開催しては。

池田町長

ツノチャ・マルシェについては、徐々に規模拡大していく考えがある。今年も柔道の大会があり賑わいが

大きかったが駐車場不足の声があり、スポーツ団体等の同日開催は慎重に考えた。かわうそ学習館での特別企画展は、イベント時に合

わせたの短期間での開催なら可能。学習館の利用の在り方についても議論していきたい。

**問** 長沢の滝と渓谷散策路整備を  
**答** 当面は保全に向けて取り組む

石川

不入溪谷・長沢の滝は、町の貴重な天然観光資源であり、平成24年には「長沢の滝、足川溪谷散策路整備、堂立森林鉄道橋の復旧を」

と地元から陳情が出され議会で採択されている。その後の取り組みの経緯と町の考えを聞く。

池田町長

自然豊かで可能性のある地域であり、町の観光振興計画に位置付けている。しかし、森林鉄道橋も含め整備に高額の費用がかかるため補助制度を模索し、費用対効果と維持管理を含めた利用計画が必要。当面は林道沿いの景観維持（下刈り等）をして保全に向けて取り組む。

**その他の質問**

問・かわうそ公園のトイレ増設を

答・イベント時は、仮設トイレで対応する



長沢の滝



大崎 健夫

一般質問

問 職員採用に町内者優先を

答 受験率低い

大崎

職員の採用者の中に町内出身者の採用比率が少ない。町の将来を託す職員は町内出身者を採用し育成すべきだ。

川上副町長

三年間の採用者の内訳は、29年度9名中町内4名、30年度7名中町内2名、元年7名中3名、2年度は5名中4名が町内者である。全体として町内者の受験率は低い。

問 天狗荘の事業展開は

答 町民の理解を得ながら

大崎

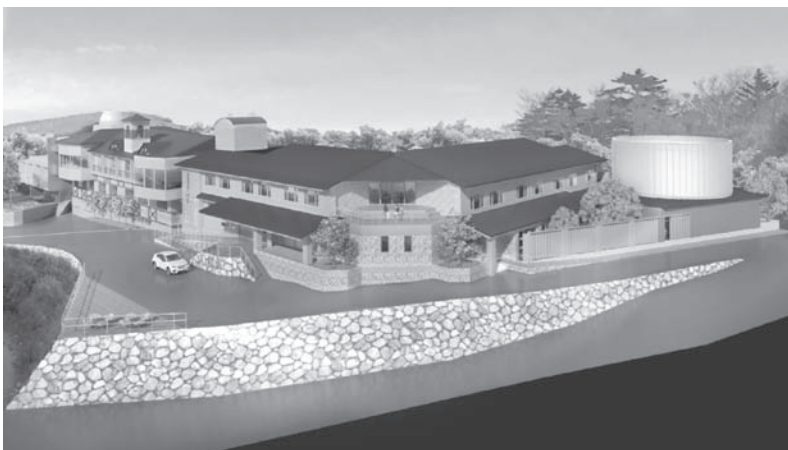
13億円を越える大型補助事業として、天狗荘のリニューアルで稼ぐ観光を展開することのことである。昨年度为天狗荘の運営状況を見ても、帳尻を合わせたような会計報告で、巨額の投資に見合った効果が期待出来るか。

池田町長

産業振興は町にとって欠くことの出来ない取り組みである。今回はそれに加えて観光立町を目指すなかで天狗高原をメインテーマに取り入れている。天狗荘の改築により天体観測を含めた新たな趣向で宿泊客の増大を目指し「稼ぐ観光」に全力で取り組む。

戸田産業課長

接客や調理等専門家も入れ、外国人についても対応出来る体制づくりに取り組む。客室の回転率についても妥当な数値と考えている。



新しい天狗荘のイメージ図



問 堤防の嵩上げを  
答 要望している

大崎

近年の大型台風による河川の氾濫は、未曾有の大災害となつている。新莊水系でも馬関地区と下流に隣接する須崎市上分地区の堤防は越流が心配。県と協議して対策を要望すべきではないか。

高橋建設課長

嵩上げの必要性については同感であり、県土木に要望している。



新莊川 馬関橋付近

問 浄化槽法への対応は  
答 一部改正の要望も

大崎

先の国会で浄化槽法が改正され、初期のころに設置された「単独浄化槽」は合併浄化槽に取り替えることとなった。

町内には181基あるとのことだがどのように対応するのか。罰則規定があるのか。山の中の古い家でも床面積に応じて7人槽以上必要というような例は改正できないか。

高橋建設課長

4月から施行の予定。詳細についてはまだ内容が掴みきれない状況。

本町では環境のためにも合併浄化槽の推進に努力し、生活排水の処理率は県下で4番目となっている。

古い大きな家で売却の可能性も無いところを床面積のみで10人槽以上ということには疑問もあり、県に改正の要望をしている。



浄化槽工事

問 オリパラ応援村で  
地域づくりを

答 教育委員会主体で若者に



西元和代

一般  
質問

西元

地方創生のチャンスと言われてきた東京オリパラに関する企画は。

応援村はオリンピックのみの一過性でなく災害時等にも役立ち、内容が幅広く自由度が高い。若者たちが内容を企画することで、新たな地域づくりにも婚活にも繋がる。これを機に青年団のような組織立ち上げも期待しながら若者に呼びかけてみては。



池田町長

オリンピックではオフィシャルスポンサーであり、本町と連携協定も結んでいる日本生命と調整のうえかわりをもっていきたい。

オリパラを機に、例えば小さなパブリックビューイング※の実施に向けて話し合うことも地域づくりの核となる組織づくりになる。教育委員会が主体となり若者に呼びかけながら仕掛けていきたい。

久寿教育長

須崎市で200mを走る聖火ランナーが本町から1名推薦される。バスを準備し応援する計画をしている。参加者は広報や回覧で募集する。道徳教育の中でも各学校で展開し同じ気運を子ども達に味合わせたい。

西元

10月の財政制度審議会で、早ければ令和3年に要介護1・2の生活支援が住民の助け合い等の地域支援事業へ移行することが予測される。住民の意識改革や人材育成を危機感を持って取り組まなければ手遅れになると思うが具体策は。



助け合い体験 研修会

池田町長

地域で支えていく仕組みを作るために何ができるか介護に対する意識も変えていかなければと思う。今の現状と5年10年先の状況を見据えた現実を住民に訴えながらあるべき姿を探っていきたい。

下元介護福祉課長

来年度は福祉パトロールでの高齢世帯へのアンケートや地域づくりを目指した研修会を予定。課題の共有や話し合いまでのきつかけづくり、訪問B※のサービスをしながら各地域ごとに取り組みでいきたい。

問 急げ。生活支援の人材育成  
各地域で住民と共に

西元

問 モニターツアーの実施を  
答 よりよい住民参加を考える

町内宿泊施設を町民が使うことは殆どない。一大プロジェクトを成功に導くには町民の応援が必要。自慢できるものとなれば参加者がインフルエンサー<sup>※</sup>的役割を担ってくれることも。本格オープンに参加者の意見を活かせるよう、天狗荘リニューアル後に町民向けモニターツアーの実施を。

戸田産業課長

リニューアルオープンは今和3年4月予定。各部署の動作確認などは必要で、内覧会を兼ねての取り組みは想定できるが時期の調整が難しい。運営主体との議論も必要だが、住民が参加できるよりよい方法を考えたい。



現在の天狗荘

問 水痘ワクチンの助成制度を  
答 開発動向に注視のうえ議論



西元

带状疱疹の罹患率が上がっているよう。高齢になれば重症化の確立が高く、厚労省も50歳以上の予防に水痘ワクチンを承認している。高齢化率の高い自治体には特に推奨される。医療費削減のためにもワクチン接種に助成制度を創設しては。

池田町長

80歳までに約3人に1人が带状疱疹になるとのこと。でワクチンは重要と考える。

今橋健康福祉課長

令和2年、免疫不全患者にも接種可能なサブユニットワクチンが使用可能となる見込み。現在は在庫数が少なくワクチンの安定供給が課題。ワクチンの開発動向に注視し、安全性と安定供給を確立したうえで助成制度について議論していきたい。

※応援村とは：

オリンピックを地域住民が日常生活の延長の中で気軽に応援できる環境や場所。賛同する自治体を主催者として全国2千カ所まで2千万人の来場者を目指す。

※パブリックビューイングとは：

スタジアムや公園・広場の特設会場などに設置された大型スクリーンで、別の会場で行われているスポーツの試合等を観賞すること。

※訪問Bとは：

住民主体で行われる訪問サービス。

※インフルエンサーとは：

世間に与える影響が大きい人物が情報を活用して宣伝すること。

問 上水道事業の計画は

答 10年後の完了を目指す



中山昭英

## 一般質問

稼働中の簡易水道施設



中山

インフラ整備のなかでも簡易水道の普及は、町民生活の安心・安全を担保するだけでなく、地域の活性化にも大きな影響を与える重点施策である。  
残事業と完了までの計画、課題を聞く。

高橋建設課長

町の上水道としては、町が整備した簡易水道と地区管理の飲料水供給施設を認定。合わせると98・54%の普及率であるが、老朽化した飲料水供給施設で自力管理が難しくなったものを簡易水道に移行していくことができていない。

現在は、白石簡易水道を整備中。続く4地区から簡易水道化して町管理にと申し出があり、事業導入できる地区から整備をしていくが、2 km先の一軒家等には制度が無いなど課題もある。現状の事業費投入ができれば、残事業の完成は最短期でも10年前後と試算している。

中山

土砂災害特別警戒区域の指定がなされた場合、区内への建築に規制がかかり山留壁に多額の費用を要することから若者の住宅建築が困難となる。平地部に建つ場合も水道が無い所では多額の費用負担となる。  
新築して定住したい若者の夢を実現するために、制度を見直し支援すべきではないか。

池田町長

制度の見直しは、将来的にはあり得るが若者定住対策において、定住促進住宅取得奨励金を支給している。ので、奨励金の中で対応してもらおうのが現段階では限界と思っている。



問 住宅建築への支援を  
将来的に見直しはあるか

問 青年団の復活を

答 団体作りに取り組む

中山

今年、高知県青年団協議会主催のスポーツ・文化交流会が津野町で開催された。青年団が無くなって40年近くになると思うが、若者が集い交流する、イベントを開催するなど町の活性化や婚活につながる。担当を配置して青年団の復活に積極的に取り組んで

久寿教育長

このスポーツ・文化交流会には町内の24人の若者も参加し、他市町村の若者と一生懸命に取り組む姿にパワーを感じ、高齢化が進む津野町を守っていくために自分たちが担うことを考えるという意識を持つてほしいと思った。青年団のような、若者が意欲をもって活性化に頑張る団体作りに取り組む。



交流会の風景

中山

四万十川源流点への観光を推進していくためには登山口にトイレは不可欠である。設置を急ぐべきではないか。

池田町長

イベントの場合には主催者に仮設トイレの設置を検討してもらいたい。30名足らずのピーク時の利用を考えると今のところ設置は難しいと判断している。

問 四万十川源流点登山口に

トイレを

答 設置は難しい

戸田産業課長

登山口は非常に山奥で、入り込み人数もピーク時に24名程度と少なく、電源確保、汚物処理、清掃などに課題がある。当面は登山口までの麓の施設に誘導する案内で対応し、設置については十分考慮しながら検討する。

その他の質問

問・地区管理の水道施設への支援を

答・行政が支援するには課題が多い



川上 智子

一般質問

問 どう守る 災害弱者の命

答 避難行動計画策定

川上

災害時に、自力で避難が難しい高齢者や障がいのある災害弱者の命をどう守るのか。その避難対策と周知について問う。

下元介護福祉課長

本年度、対象者を戸別訪問。来年度中に、全員の避難行動計画を策定したい。

池田町長

防災情報の周知については、多発する自然災害から住民を守るため来年度よりデジタル防災無線の整備に取り組む。要望があれば全戸室内受信機を設置し周知を徹底させる。



中学生座談会



問 ペットはどうしたら？

答 同行避難で

川上

災害が発生すれば、人だけでなくペット、動物も同じように避難生活を余儀なくされる。単なる動物から家族へと、その存在自体が飼い主の心の支えとなっている現在の本町の対応は。

岡崎総務課長

避難所開設時には、被災者「人」を第一と考えた受け入れを行う。ペットについては、同室ではなく避難所外での軒先や車中避難となる。周知については、現在見直し中の津野町地域防災計画の中で協議し取り組みたいと考えている。

※同行避難とは

災害発生時に飼い主とペットが安全な場所まで避難すること。

※同伴避難とは

避難所でも一緒に室内で過ごすことができる避難のこと。

中学生 or 女性の議会開催を  
問

答 座談会形式で

川上

中学生が議会、行政の仕組みを学び社会の一員としての自覚を培うとともに、子どもたちの意見をまちづくりで反映させる。あるいは女性の視点から社会を見つめ日常生活の中から問題を提起し、町政に女性の声を反映させるために模擬議会の開催を。

池田町長

中学生の模擬議会については、学校の授業計画のカリキュラムの中で事前学習が必要となる。これからのまちづくりに子どもたちを参画させるには、座談会形式の方がベストと考える。女性議会もこちらから呼びかけでの開催は難しい面がある。まずは、座談会において多くの皆様のご意見を賜りたい。



川上

白血病患者らの治療のために骨髄などを提供するドナーに対し、休業補償として助成金を支給する取り組みが県内の自治体などで広がっている。本町でも骨髄ドナー助成制度の制定を。

今橋健康福祉課長

市町村が骨髄末梢幹細胞の提供者に支援を行った場合、一定の要件においては県から $\frac{1}{2}$ を補助される事業がある。これを活用して支援制度の創設を図りたい。今後、関係機関と連携し普及啓発に努める。

問 ドナーの負担軽減を  
答 支援制度を創設

あなたにしか救えない  
命があります。

ドナー登録は18歳から54歳まで  
骨髄バンクのドナー登録にご協力ください

日本骨髄バンク

TEL.03-5280-1789

ドナーバンク 骨髄バンク 検索

問 精華小学校の統合は

答 令和4年以降



高橋 眞一郎

## 一般質問

高橋

精華小学校の現状と統合に関するPTAや精華小学校区の住民との話し合いは、

久寿教育長

今年1学級が複式になり、各学級の懇談会で保護者の意見を伺った。

アンケートの結果とは違い、保護者の不安な声もあったが子どもの教育が大切。年度末を目的に話し合いを重ねて保護者や地域の皆様に理解を得たい。統合は最短期間で令和4年以降になると思う。



精華小学校

## 傍聴記

10月のサロンで「一度議会の傍聴に行きたいね」との話が出ました。それまで何となく敷居が高くて、議会に行く事が無かった私でしたが、城下町サロンの希望者の皆さんと一緒に、12月11日の議会を傍聴させて頂く事となりました。一人では重い腰が上らずきつと一生経験する事はなかったと思います。

当日は、他の傍聴の方が結構多く、皆さんが行政に熱心に関わりを持つととされてるんだなと感じ、自らを省みて少々居心地の悪い思いがしました。

資料として頂いた「一般質問通告書」には、議員の方それぞれの質問内容と相手がかかれており、普段こういう体験のなかった私でも状況が理解し

やすかったです。

津野町にも程度の差はあれ様々な検案事項があり、例えば県等との調整等が必要な事、将来を見据えての政策、様々な法律との兼あい、限られた予算の有効活用など色々な視点からの検討が必要だからこそ議会があり、議員の皆さんが努力されているのを感じた日でした。

津野町姫野々

西元由香里



# 総務常任委員会

## だより No.2

### 今回のテーマ

- (1) 教員の働き方改革
- (2) 課題を抱えた児童・生徒の現状と取り組み

『学校は、えらい遅うまで電気がついちゃうが』

(1)働き方改革については、意識改革、メンター制<sup>※</sup>の取り組み、行事の見直し、ノー残業デー、部活動休養日の設定等、各校それぞれの取り組みがなされていた。中でも、校務支援システムの導入は日々の校務管理負担の軽減に繋がっていると認識できた。

これらの導入や町単独の支援員の増員にも関わらず何故それほど遅くまで学校に残らなければならないのかと疑問の声もあがった。何より先生方が尊厳と誇りをもって仕事ができ、未来を担う子供たちが健やかに成長できるよう、この問

題は教職員のみならず保護者、地域で自分たちの問題として取り組む必要があると感じた。

※メンター制とは：

助言者・相談者の意

(2)校内で、定期的に情報の共有が図られ、学校、行政、スクールソーシャルワーカー等と連携して個々に応じたサポートが行われている。ケースによっては、スクールカウンセラーといった専門家の指導を仰ぎながら対応している。

『丁寧な指導と保護者との信頼関係構築を』

次回のテーマは「ひきこもり」について



学校訪問（葉山小学校）

## 伝えるのではなく **伝** **わ** **る** を意識する



議会だより発行調査特別委員会は、去る11月29日議会広報研修会に参加しました。

『広報改革は議会改革』  
これからも、分かりやすく読みやすい広報づくりを目指し全員で基本に忠実に取り組みます。

## 読者クイズ

下記の問題の○に入る言葉のうち①～⑤を繋いで言葉を完成させてね。

答えは今月号の議会だよりの中にあるよ!!



1. 町内に受講者の多い①〇〇救命講習。
2. 浄化槽法改正により〇〇〇②浄化槽が合併浄化槽へ。
3. 50歳以上の帯状疱疹の予防に承認されている水痘③〇〇〇。
4. 町の上水道に認定されているのは町が整備した簡易水道と地区管理の〇〇〇〇④水供給施設。
5. 災害時の避難対策と周知は津野町⑤〇〇防災計画の中で協議する。

前回の答えは「しちごさん」でした。厳正な抽選の結果、下記の5名が当選されました。おめでとうございます。

お寄せいただいた感想、ご意見の一部紹介

★文化祭で目と心の栄養及び満腹になり帰ってきました。

★町内でどんなことが問題となっているのかわ知ることが出来ます。

★クイズを通して答えのある議会だよりによりに親近感を感じました。

官製はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号、クイズの答え、感想など一言をご記入のうえ、2月末までに下記の事務局までご応募下さい。正解者の中から抽選で5名の方にプレゼントをお送りいたします。なお、当選者は次号にて発表いたします。どしどしご応募下さい。

残念ながら今回当選されなかった方も、またチャレンジして下さいね!



### 当選者

杉ノ川	古谷 悠子	様
姫野々	田中 牧子	様
永野	片岡 芳子	様
新土居	福井 美記	様
船戸	高橋 由紀子	様

### 津野町議会だより 発行調査特別委員会

委員長	西元和代
副委員長	大崎芳章
委員	中山昭英
委員	松尾信壽
委員	西森盛幸
委員	川上智子

## 編集後記

昨年より平成を振り返る機会が増え、改めて時代の移り変わりを感ずる。社会人になり間もない頃、携帯電話に縛られるのが嫌で持つことをためらった。

自由を選択できた時代。あれからスマホが主流となり、今や情報通信技術とは切り離せない世の中。不自由を知っているから自由を楽しめる私達だが、どっぷり自由の中にいたらどうだろう。「今の子ども達は得」と聞くが、彼らには新たな悩み、課題があるだろう。

私達には分からないことに不安と躊躇が伴う。

今、津野町も天狗荘をはじめ次々と大きく変わろうとしている。

時代の波を眺めるだけでなく吞まれるわけでもなく、うまく乗りこなすために、知ることがからはじめ、とことん議論を重ねたいものだ。

今年オリンピッククイヤー。あの感動を分かち合うように、町政に関しても町民の皆さんと喜びを分かち合いたい。

文責 西元和代

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せ下さい。

〒785-1020

津野町永野四七一

津野町役場議会事務局

議会だよりは、環境配慮型の再生紙を使用しています。